

3/15 Hirado City Photo News
新たなPR商品を開発



田平まちづくり協議会(松瀬郡一郎会長)の皆さんが市長を訪問し「日本最西端の駅PR(新製品の開発)事業」について報告しました。

これは日本最西端の駅(たびら平戸駅)のタオルを作製し全国にPRすることで、田平地区への集客を図り、田平まちづくり協議会の自主財源確保と、田平地区の活性化につなげるために開発されました。

このタオルは、4月から「道の駅昆虫の里たびら」や「平戸瀬戸市場」などで販売され、収益金は田平地区のまちづくりのために全額利用されます。

3/11 Hirado City Photo News
歴史的な価値を学べる観光地に



根獅子小学校体育館で「ねしこ食まつり」が開催されました。

当日は、筑波大学教授の山中弘教授による「宗教ツーリズムと地域づくり」と題しての基調講演とシンポジウムが行われ「世界遺産登録後に、根獅子にあるキリシタン伝承の歴史を、地元の人が話せるなどの仕掛けが必要」と提言していました。

その後、根獅子の伝統的な料理の振る舞いが行われ、訪れた約300人の参加者は、猪肉のローストビーフやかんころ飯などを堪能していました。

2/24 Hirado City Photo News
春を迎える準備



川内峠で毎年恒例の野焼きが実施されました。この日は近隣の地区住民、市や消防などの関係者が参集して行われました。

午前9時ごろに火入れを行っていましたが、燃え方が遅く、例年よりゆっくりと燃え広がりました。それでも訪れた多くの見物客やアマチュアカメラマンは、炎で刻々と変わりゆく景色に、魅了されている様子でした。

4月上旬には、わらびやぜんまいなどの新芽が顔をだし、山菜取りの人たちなどでにぎわいます。

1/24 Hirado City Photo News
女性が社会で活躍するため



平戸海上ホテルで「女性活躍推進に向けた企業内研修会」が開催されました。

平成28年4月1日、女性の職業生活における活躍の推進に向けた法律(女性活躍推進法)が施行されたのをきっかけに平成28年度から実施しています。今回は、ワーク・ライフ・バランスの専門家である吉岡和佳子先生を講師に招き、男女共同参画およびワーク・ライフ・バランスについて学びました。参加者からは「仕事をする女性の悩みや解決策を考える良い機会になりました」と声が上がっていました。

3/1 Hirado City Photo News
100歳に見えないほどお元気



田平町の末吉イトさんが100歳のお誕生日を迎え、市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

松浦市御厨町生まれの末吉さんは、結婚後大阪で生活していましたが、35年前に田平町へ戻り暮らしています。

以前は、友人とよく出かけて楽しんでいたそうで、現在は、週3回デイサービスに通い楽しんでいます。

お祝い式では、100歳とは見えないほどお元気で、多くのご家族に祝福され喜んでいました。

2/15 Hirado City Photo News
和裁や歌が大好き



大久保町の木戸ユキさんが100歳のお誕生日を迎え、市長が入所先の平戸荘を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

木戸さんは18歳で結婚し、3人の子どもに恵まれました。和裁がとても上手で「今でも和裁やりたい」と言うほど好きだったようです。また歌も好きで、家族との面会の際にはいつも一緒に歌っています。

お祝い式では、多くのご家族や施設の皆さんに祝福され、手を合わせて感謝の言葉を述べていました。

2/27 Hirado City Photo News
ICTを活用した遠隔授業



田平北小学校でICTの通信システムを利用して、遠隔授業が行われました。

長崎県美術館と通信システムを使ってライブ配信して授業を行い、子どもたちに本物の絵画を見て感じたことを対話形式で学ぶことを目的に、実施されました。

実際に展示してある作品を鑑賞して、児童がどのように感じたのかを周りの子と話し合っ発表し、その後、美術館スタッフが、作者の作品への思いや歴史的エピソードなどを解説していました。

2/24 Hirado City Photo News
つばき一色のフェア



たびら活性化施設と平戸市未来創造館で「平戸つばきフェア」が開催されました。

田平会場では「第44回田平つばき物産展」、平戸会場では「第43回平戸つばきまつり」を開催。会場には、たくさんのツバキの鉢物や生け花、切り花、ミニ盆栽などが展示されており、来場者はすばらしい作品の数々に見入っていました。

また、ツバキを題材にした絵画の展示や苗木の販売、呈茶なども行われ、会場は多くの来場者でにぎわっていました。